

## 平成 29 年度熊本県地域医療支援機構 事業実績

熊本県から熊本県地域医療支援機構の運営事業を委託された熊本大学医学部附属病院が、県と連携して着実に事業を実施した。

### 1 県内における医師不足の状況等の把握・分析に関すること

#### ① へき地医療及び医師・歯科医師確保に関する医療機関調査

- ・ 第7次熊本県保健医療計画（H30年度～H35年度）をはじめ、今後のへき地医療及び医師・歯科医師確保に関する施策等を検討するための基礎データを得ることを目的に、県内の医療施設 2,525 施設（病院：213 施設、診療所 1,465 施設、歯科診療所 847）に調査を実施。

### 2 医師不足医療機関の支援に関すること

#### ① 医師が不足する医療機関への診療支援

- ・ 水俣市立総合医療センター及び牛深市民病院への診療支援（週 1 回）。

#### ② 遠隔診療・教育支援システムの構築支援

- ・ 小国公立病院、公立多良木病院及び上天草総合病院にテレビ会議システムを設置。

### 3 地域医療を志す医学生及び地域医療に従事する医師のキャリア形成支援に関すること

#### ① 熊本県医師修学資金貸与医師のキャリア形成支援

- ・ 貸与医師 16 人、貸与学生 48 人の面談を実施（平成 29 年 5 月～7 月）。

#### ② 熊本県医師修学資金貸与医師キャリア支援調整会議の運営

- ・ 平成 30 年 1 月 26 日に開催し、卒後 2 年目 5 人、卒後 3 年目 3 人の平成 30 年度勤務先案を決定。

#### ③ 地域医療研修システム連絡調整部会の運営

- ・ 第 1 回（平成 29 年 9 月 28 日）開催。熊本赤十字病院の後期研修医（2 人）に係る地域医療研修先（河浦病院）を決定。
- ・ 第 2 回（平成 30 年 3 月 5 日）開催（書面会議）。熊本赤十字病院の後期研修医（1 人）に係る地域医療研修先（河浦病院）を決定。

#### ④ 地域医療を志す医学生及び地域医療に従事する医師を支援する制度の運営

- ・ 貸与学生・医師、自治医科大学生等に登録を働きかけ医療情報の提供等の支援。

#### ⑤ 総合診療専門医及び指導医の養成、確保

- ・ 地域医療実践教育玉名拠点への指導医派遣、テレビ会議システムによる研修医指導等の支援。

### 4 医師に関する求人・求職などの情報発信に関すること

- ・ 医師及び学生を対象に、ホームページによる求人情報の発信。
- ・ 学会等におけるブース設置（日本プライマリ・ケア連合学会学術大会（平成 29 年 5 月 13 日～14 日））。リクルートの実施。

## 5 県内外の医師、医学生、医療機関等からの相談対応に関すること

- ・ 専任医師等による相談対応。
- ・ 県外在住の県出身医学生を対象とした 熊本県地域臨床実習支援制度（肥後ふるさと実習支援事業）の創設。

## 6 女性医師の就業継続及び復職支援に関すること

- ① 復職支援コーディネーター等による女性医師の復職支援
  - ・ 相談件数（延べ 93 件）。
  - ・ お留守番医師制度の実施（3 件）、マタニティ白衣の貸し出し（5 件）。
- ② 女性医師メンター制度の創設
  - ・ メンター連絡会議の開催（3 回）。
- ③ 女性医師の勤務環境に関する調査
  - ・ 学童保育に関するアンケート調査の実施。
- ④ 女性医師等の対象とした研修会等の開催
  - ・ 男女共同参画女性医師支援セミナー等の開催（3 回）。
- ⑤ 女性医師キャリア支援センターに関する情報発信
  - ・ ホームページ改修、全国保険医団体連合会月刊誌等への投稿。
  - ・ 女性医師キャリア支援センター紹介パンフレット作成。

## 7 その他、支援機構の設置目的を達成するために必要な事業

- ① 地域医療に関する講演会の開催
  - ・ 平成 29 年 7 月 28 日（天草市）：テーマ「熊本県の地域医療のあり方を考える」
  - ・ 平成 30 年 1 月 27 日（熊本市）：テーマ「地域包括ケアにおける医療機関の役割と課題」
- ② 地域医療に関する周知啓発
  - ・ メールマガジンの発信（12 回）。